



倉田小だより 4月号



横浜市立倉田小学校

～つながり いきいき 倉田っ子～

ご進級 ご入学 おめでとうございます

校長 丹羽 多香

3月末から開花した桜ですが、週末の荒天にも負けず、今年も子どもたちの入学、進学をお祝いしてくれています。友だち・教室・身のまわりの環境など、たくさんの変化に、わくわくどきどきしながら倉田小学校の新しい一年がスタートいたしました。

さて、春になると、自分の幼年期を思い出します。

絵本で土筆(つくし)を食べる場面を見たことがスタートでした。土筆って食べられるのか、どんな味がするんだろう…。興味をもち、図鑑を見たり地域の図書館に行ったりして、土筆の食べ方について調べました。(当時は、インターネットなど普及しておらず、情報の収集源は限られていました。)結局、図書資料からは情報を得ることはできなかったのですが、遊びに来た祖母が調理の仕方を教えてくれて、近所の友達を引き連れて、土筆狩りにでかけました。今でも、野原一面に土筆が顔を出している風景を幸せな気持ちで思い出します。そして、袋いっぱい土筆を抱えて、帰宅。宝物を手に入れたような高揚感で差し出した土筆でしたが、思っていたような母の反応を得ることができず、がっかりしたことを覚えています。その夜、母は、山のような土筆の袴を処理し、お浸しにしたり天ぷらにしたりしてくれました。残念ながら、その味についてはあまり覚えていません。おそらく、子ども心にそれほど魅力的ではなかったのでしょう。私の土筆熱は、それきり冷めましたが、ノビル、ヨモギ、スイバなど、ほかにも食べられる春の野草を探しては、母にねだって調理をしてもらうことを楽しんでいた記憶があります。

思えば、これは私にとって、いちばんはじめの「探求学習」でした。自分の興味・関心について、情報収集し、整理・分析し、考えをまとめて発信する。得た知識や考えは、次の課題を生み、さらなる探究につながります。「おや?」と思うこと(「ふしぎのたね」)は、日常生活の中にたくさんあります。そして、不思議を感じるアンテナは誰でももっています。「どうしてだろう?」と考えたり、答えを探して本を読んだりICTを活用したりして調べることが「ふしぎのたね」の育て方です。育てた「ふしぎ」は、またタネを落として生長し、私たちの新しい好奇心を掻き立て、興味のあること、好きなことを増やしていきます。

倉田小学校では、今年度も「ふしぎだな。」「調べてみたいな。」と感じる気持ちを大切に教育活動を進めていきます。さらに、自分の興味を追究し解決する楽しさや、友達と共有する楽しさを体験できるように努めていきます。

教職員一同、どの子にとってもこの一年がよりよいものとなるよう、子どもたちの思いを丁寧に受け止めて、充実した教育活動をつくってまいります。今年度も、皆様の温かいご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

令和8年度 本校の教育目標

つながり いきいき 倉田っ子

- どの子どもにも安心・安全な学級(教室)を保障します。
- どの子どもにも学ぶ喜びを保障します。
- 基本的な環境整備を充実させます。

今年度も、地域とともに歩み地域の皆様に支えられてきた倉田小学校の特色が、十分に生きる学校づくりに向け取り組んでまいります。たくさんの方とつながり、支えられながら子どもたちが育っていくことのありがたさ・尊さを、子どもたちと共に深く感じながら、毎日を大切に過ごしていきます。

昨年度の「前進(前に進もう)・全進(全員で進もう)」に続き、今年度は「離陸(take off)」を合言葉に、職員一同、団結して教育活動に取り組んでまいります。育成をめざす資質能力や子どもたちの姿に向かって、向上心をもって飛行する集団でありたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。